

# 平成23年度当初予算

**総額 280億5,734万4千円**  
**一般会計 159億4,000万円**



※人口：47,061人  
 世帯：14,903世帯  
 (平成23年4月1日現在)

■市民の皆さんが負担する税を1人(一世帯)あたりに換算すると  
**93,406円 (294,960円)**

■市政に使われるお金を1人(一世帯)あたりに換算すると  
**338,709円 (1,069,583円)**

**市民1人(一世帯)あたりはこんな金額**

市の予算を市民の皆さんに身近に感じていただくため、平成23年度一般会計予算の歳入(市税)と歳出を、市民1人(一世帯)あたりで表してみました。金額は、4月1日現在の人口と世帯で割ったものです。

## 平成23年度一般会計主要事業の予算

### ハード事業

(建物の建設・修繕、道路整備など工事をすすめる事業)

**総務費** ▶ 岩瀬駅跨線歩道橋および駅舎整備実施設計委託…8,000万円

**農林水産業費** ▶ 霞ヶ浦用水事業(事業負担金)…1億9,947万9千円/ほ場整備事業…6,291万6千円/林道整備事業(改築・改良)…3,976万8千円

**土木費** ▶ 道路新設改良事業…2億4,939万1千円/道路維持事業…5,235万5千円

**消防費** ▶ 消防施設事業(消防ポンプ自動車購入)…2,600万円

教育費：中学校管理事業(耐震補強工事)…2億4,641万円/多目的複合施設建設事業…7,185万5千円

### ソフト事業

(ハード事業以外の事業)

**総務費** ▶ デマンド交通運営事業費補助金…4,317万2千円

**民生費** ▶ 子ども手当費…8億9,050万円/障害者自立支援給付事業…4億8,832万5千円/生活保護支給事業…4億1,143万7千円/医療福祉事業…3億1,167万2千円/保育所入所児童委託料…2億4,061万7千円/児童扶養手当事業…1億6,160万円

**衛生費** ▶ 予防総務事業…1億1,285万4千円/保健事業…5,551万円/ごみ減量化対策事業…4,323万7千円

**商工費** ▶ 地域振興事業…1,124万円

**農林水産業費** ▶ 霞ヶ浦用水転作地等水利費補助事業…1,989万円

**教育費** ▶ 幼稚園就園奨励費補助事業…2,363万8千円/幼稚園児送迎バス委託事業…2,100万円/英語指導助手業務委託料…1,617万9千円/通学バス運行委託事業…1,520万円

**歳出** 市民の皆さんのために使われるお金

一般会計の歳出では、民生費が最も多く、高齢者や障害者・児童などの福祉の充実が図られます。続いて多いのが市立学校や生涯学習振興などに使われる教育費。総務費は戸籍や広報、庁舎管理など市の運営に充てられます。続いて健康促進、環境保全、ごみ処理などの衛生費、市の借入金返済などの公債費、土木費、農林水産業費、消防費などの順になっています。

※( )内は、構成比率

## 一般会計の歳出の内訳

- ①民生費 51億5,420万3千円 (32.3%)  
社会福祉サービス、生活保護など
- ②教育費 21億311万8千円 (13.2%)  
市立学校、生涯学習振興など
- ③総務費 18億9,651万3千円 (11.9%)  
戸籍や広報、庁舎管理など
- ④衛生費 18億2,689万9千円 (11.4%)  
健康促進、環境保全、ごみ処理など
- ⑤公債費 15億8,865万4千円 (10.0%)  
市の借入金の返済など
- ⑥土木費 10億7,992万9千円 (6.8%)  
道路や公園の建設や修繕など
- ⑦農林水産業費 10億6,577万4千円 (6.7%)  
農林水産業の振興、基盤整備など
- ⑧消防費 7億6,644万5千円 (4.8%)  
防災対策、消防、救急救命活動など
- ⑨その他 4億5,846万5千円 (2.9%)



**歳入** 市に入ってくるお金

一般会計の歳入のうち最も多いのが、一定の基準により国から配分される地方交付税で、全体の約36%を占めています。

続いて多いのが市民税・固定資産税・軽自動車税などの市税。次の国庫支出金は、事業実施のための国からの補助金。そして、市債は、事業を実施するための国などからの借入金。以下、県支出金、地方消費税交付金、諸収入などの順になっています。

※( )内は、構成比率

## 一般会計の歳入の内訳

- ①地方交付税 56億8,100万円 (35.6%)  
所得税・消費税などの国税の一部を国から交付される収入
- ②市税 43億9,578万2千円 (27.6%)  
市民税、固定資産税、軽自動車税など
- ③国庫支出金 17億2,059万円 (10.8%)  
学校や道路などの建設、扶助費などに対して国から補助される収入
- ④市債 11億9,280万円 (7.5%)  
事業を実施するために長期的に国などから借り入れる収入
- ⑤県支出金 9億3,125万8千円 (5.8%)  
学校や道路などの建設、扶助費などに対して県から補助される収入
- ⑥地方消費税交付金 4億248万9千円 (2.5%)  
県に納付された消費税の一部を県から交付される収入
- ⑦諸収入 3億4,219万5千円 (2.2%)  
学校給食費や高額療養費返金などの収入
- ⑧地方譲与税 3億360万1千円 (1.9%)  
市道の面積などに応じて揮発油税・自動車重量税の一部を譲与される収入
- ⑨繰越金 3億円 (1.9%)
- ⑩使用料・手数料 1億6,298万2千円 (1.0%)
- ⑪その他 5億730万3千円 (3.2%)



桜川市の基本となる平成23年度当初予算が、平成23年第1回桜川市議会定例会において可決・成立いたしました。

市財政の中心となる一般会計予算額は159億4,000万円です。国民健康保険特別会計など6つの特別会計と水道事業会計を含めた予算総額では、280億5,734万4千円となり、前年度当初予算の合算額と対比して2.2%の減となります。

今月号では、主に一般会計予算の概要を歳入・歳出別にお知らせいたします。

## 平成23年度当初予算一覧

区分	平成23年度予算	前年度の当初予算との増減率(%)
一般会計	159億4,000万円	△3.7%
特別会計	国民健康保険	58億2,818万8千円 1.3%
	老人保健	0円 皆減
	農業集落排水事業	4億1,446万7千円 △2.0%
	公共下水道事業	7億8,012万円 △14.4%
	介護保険	32億8,167万1千円 1.4%
計	介護サービス事業	950万円 32.6%
	後期高齢者医療	3億4,503万6千円 △3.2%
水道事業会計	14億5,836万2千円 0.3%	
合計	280億5,734万4千円	△2.2%